

自治労 渡島地方本部ニュース

【発行】
 自治労渡島地方本部
 執行委員長 川村 哲也
 〒041-0806
 函館市美原 4-6-16
 TEL 0138-34-2357
 FAX 0138-34-2358

自治労渡島・檜山地本2013合同春闘討論集会

粘り強い運動を

1月19日、函館市ホテルテトラにおいて、渡島・檜山地本合同の春闘討論集会（20単組・2総支部75名の参加）を開催した。

冒頭、川村委員長から政治情勢について、また道本部・藤盛副委員長から「春闘は各単組で情報を共有化して、要求・交渉・妥結・書面化のサイクルを守り進めて頂きたい」とあいさつを受けた。

講座Ⅰ「2013自治労北海道本部春闘方針について」
 榎部賃金部長・長尾自治労共済事業部副部長から提起を、自主福祉活動の推進について、労金および全労済から説



渡島地方本部 川村委員長

明を受け春闘期の取り組みを確認した。

講座Ⅱ「再任用・雇用と年金の接続について」榎部賃金部長からは、「再任用について小さい自治体ほど条例化がむずかしい状況になっている。現在179自治体のうち157自治体が条例化しているが、運用は33自治体だけである。しかし、このまま再任用を運用していかなければ無年金になってしまう。各単組は粘り強い運動を展開して頂きたい。」

再任用にあたっては、十分な労使協議をし、組合員本人の選択の余地を残すべきである。また、給与・手当・勤務時間・休暇などについては、国や北海道の水準を下回らない取り組みを行うことが大切である」と講演を受けた。



榎部賃金部長

参加者からは地方交付税やラスパイについての情報が必要なので、道本部から発信して頂きたいとの意見が出され、適宜発信していくことを確認した。



逢坂誠二代表

今集会に逢坂誠二民主党八区総支部代表が激励に駆けつけて頂いた。

代表より「政権交代により、自公は地方交付税の減額を打ち出してきた。地方が窮地に立たされる。また、ひも付き補助金の復活である。今の政治には非常に危惧している。自分自身もう一度政治の場に再チャレンジしていくと決意とあいさつを頂いた。最後に檜山地本の三上委員長長の団結ガンバローで今集会を終えた。

今集会に逢坂誠二民主党八区総支部代表が激励に駆けつけて頂いた。

清掃共闘会議 要求書提出

1月22日、函館市役所において清掃共闘会議は函館市に対して今年度の「廃棄物行政政策制度について」また「委託料に関する」要求書を長谷川副議長から中林副市長へ提出した。



長谷川副議長（右）から要求書提出

地本のうごき

- 2月 1日 八雲町職労第7回定期大会
恵山公清ユニオン定期大会
- 2月 2日 佐々木事業所定期大会
松前消防協定期大会
- 2月 8日 全労済経営委員会
- 2月 9日 社福評議会第1回幹事会
女性推進協議会第1回幹事会